

ADVANTEST[®]

Q1 FY25 (Three months ended June 30th, 2025) **Financial Briefing**

2025年度(2026年3月期) 第1四半期決算説明会

July 29th, 2025 Advantest Corporation
2025年7月29日 株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

Note / ご注意

Accounting Standards

- Our results and outlook, described in this presentation, have been prepared in accordance with IFRS.

Cautionary Statement with Respect to Forward-Looking Statements

- This presentation and any information provided orally by Advantest representatives contains "forward-looking statements" that are based on Advantest's current expectations, estimates and projections. These statements include, among other things, the discussion of Advantest's business strategy, outlook and expectations as to market and business developments, production and capacity plans. Generally, these forward-looking statements can be identified by the use of forward-looking terminology such as "anticipate," "believe," "estimate," "expect," "intend," "project," "should" and similar expressions. Forward-looking statements are subject to known and unknown risks, uncertainties and other factors that may cause Advantest's actual results, levels of activity, performance or achievements to be materially different from those expressed or implied by such forward-looking statements. Except as required by law, we do not intend to update or revise any forward-looking statements as a result of new information, future events or otherwise.

Use of These Materials

- The information contained in this presentation is protected under intellectual property laws, such as copyright law, patent law, trademark law and design law, and other laws and statutes of each country and various treaties. Any use (modification, copying, diversion, etc.) of this information, that is not approved in writing by our company in advance, is forbidden.

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。法令により義務付けられている場合を除き、当社は、新たな情報、将来の出来事、またはその他の理由により、将来予想に関する記述を更新または修正することはありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、これらの情報を使用(改変、複製、転用等)することを禁止します。

Summary / サマリー

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">Posted highest-ever quarterly sales / operating income / net income in Q1 FY25Record breaking results reflect the sustained strength of AI-related demand and demonstrate our ability to scale supply capabilitiesRaised the full-year guidance for FY25 following stronger-than-expected Q1 results, while expecting a temporary digestion period in 2H of FY25 due to the timing of next-generation device transitions; growth is expected to reaccelerate in FY26 | <ul style="list-style-type: none">FY25 Q1は、四半期として過去最高の売上高、営業利益、当期利益を計上過去最高を更新したことは、AI関連需要の変わらぬ強さを反映していると同時に、当社の製品供給力の高さを実証Q1実績の上振れを反映し、FY25の通期予想を上方修正。下期は次世代デバイスへの移行タイミングによる一時的な消化期間になると見込む。FY26にテスト需要再加速を見込む |
|--|---|

○ サマリー

- 皆さま、こんにちは。本日は、当社のFY2025 Q1(2025年度第1四半期)決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。
- FY2025 Q1は、四半期ベースで過去最高の売上高、営業利益、当期利益を達成し、素晴らしい形で本年度をスタートしました。この好調な業績は、AI関連需要の持続的な強さを示すものであり、当社が供給能力の拡充に向けて着実に取り組んできたことの成果でもあります。この成果は、当社単独では成し得なかったものであり、製造パートナーやサプライヤーの皆さまの継続的なご支援とご協力に心より感謝申し上げます。
- 当社の売上総利益率および営業利益率はいずれも大幅に伸長しました。これには、前倒し需要を含む売上増加によるスケール・メリット、製品ミックスの向上、コスト管理の徹底、一過性損失の発生がなかったこと、そして特に、供給能力の拡充を中心としたこれまでの投資の成果などが複合的に寄与しております。
- 今後の見通しとして、FY2025 Q1の予想を上回る業績を踏まえ、通期業績予想を上方修正いたします。詳細につきましては、後ほど詳しく説明します。下期には一時的な調整局面が訪れると見込んでおりますが、FY2026には再び成長軌道に乗ると期待しています。こうした変動は主に、次世代デバイスへの移行タイミングに起因するものです。年間を通じて需要が均等に推移せず、突発的に変動する可能性があることを踏まえ、当社ではオペレーションの機動性とサプライチェーンの強韌性を一層強化しています。
- 今後に向けて、当社が第3期中期経営計画で提唱した、複雑性がもたらす成長という基本的な考え方は着実に進展しており、中期経営計画の残りの期間においても、継続した進展が見込まれます。
- それでは、Q1実績の詳細につきまして、高田よりご説明申し上げます。

Financial Results for Q1 FY25

2025年度第1四半期決算報告

Hisako Takada Senior Executive Officer, CFO

高田 寿子 経営執行役員 CFO

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ADVANTEST[®]

Q1 FY25 Summary of Results / 四半期業績推移

(JPY B / 10億円)	FY24				Q1	FY25			
	Q1	Q2	Q3	Q4		QoQ / 前四半期比		YoY / 前年同期比	
						Change 増減額	(%)	Change 増減額	(%)
Sales / 売上高	138.7	190.5	218.2	232.3	263.8	+31.4	+13.5%	+125.1	+90.1%
Gross Profit / 売上総利益	76.9	110.1	118.9	139.2	171.6	+32.4	+23.3%	+94.7	+123.2%
Gross Margin / 売上総利益率	55.4%	57.8%	54.5%	59.9%	65.1%	+5.2pts		+9.7pts	
Operating Income / 営業利益	31.3	63.6	69.2	64.1	124.0	+59.9	+93.6%	+92.6	+295.7%
Operating Margin / 営業利益率	22.6%	33.4%	31.8%	27.6%	47.0%	+19.4pts		+24.4 pts	
Income Before Tax / 税引前利益	31.9	60.7	70.6	61.6	121.4	+59.8	+97.1%	+89.4	+280.1%
Net Income / 当期利益	23.9	45.4	51.9	40.0	90.2	+50.2	+125.6%	+66.3	+277.7%
Net Income Margin / 当期利益率	17.2%	23.9%	23.8%	17.2%	34.2%	+17.0 pts		+17.0 pts	
Exchange Rate (JPY) 為替レート(円)	1 US\$ 1米ドル	153	154	149	154	JPY 8 Appreciation 8円 円高		JPY 7 Appreciation 7円 円高	
	1 Euro 1ユーロ	165	168	162	160	JPY 2 Depreciation 2円 円安		JPY 3 Appreciation 3円 円高	
Dividend Per Share (JPY) 1株当たり配当額(円)	-	19.00	-	20.00	-	-	-	-	-

○ FY2025 Q1 業績概要

- Q1の実績は、売上、利益ともに四半期ベースで過去最高となりました。
- 前年度に引き続き、AI関連で顧客からの製品納入要請が一層強まる中、当社は顧客の要求納期に最大限応えるべく、部材調達および製品供給能力の拡大に努め、タイムリーな製品納入を実施しました。
- 対米ドルで前四半期より円高になったものの、SoCテストの出荷が大幅に増加したことで、過去最高の四半期業績を収めることができました。

Overview of Changes in Reporting Segment / 報告セグメントの変更概要

In efforts to provide comprehensive test solutions, Advantest has decided to reclassify the sources of revenue in management approach perspectives and to change reportable segments

包括的なテスト・ソリューションの提供を目指す中で、マネジメント・アプローチの視点により当社グループにおける収益の源泉を再分類し、報告セグメントを変更

Original Reporting Segment / 変更前			New Reporting Segment / 変更後		
Reporting Segments 報告セグメント	Business / Products 事業 / 製品		Reporting Segments 報告セグメント	Business / Products 事業 / 製品	
Semiconductor & Component Test System Business 半導体・部品テストシステム事業	SoC Testers SoCテスト		Test System Business テストシステム事業	SoC Testers SoCテスト	
	Memory Testers メモリ・テスト			Memory Testers メモリ・テスト	
Mechatronics System Business メカトロニクス関連事業	Test Handlers テスト・ハンドラ		Services & Others サービス他事業	Other Systems その他システム	Test Handlers テスト・ハンドラ
	Device Interfaces デバイス・インタフェース				Device Interfaces デバイス・インタフェース
	Nano-technology Products ナノテクノロジー製品				System Level Test Systems(*) システムレベルテスト・システム(*)
Support Services, etc. サポート・サービス等		Support Services サポート・サービス			
Services, Support & Others サービス他事業	Others その他		Support Services サポート・サービス		
	System Level Test Systems(*) システムレベルテスト・システム(*)		Others その他		
	Consumables, others 消耗品、その他		Nano-technology Products ナノテクノロジー製品		
			Consumables, others 消耗品、その他		

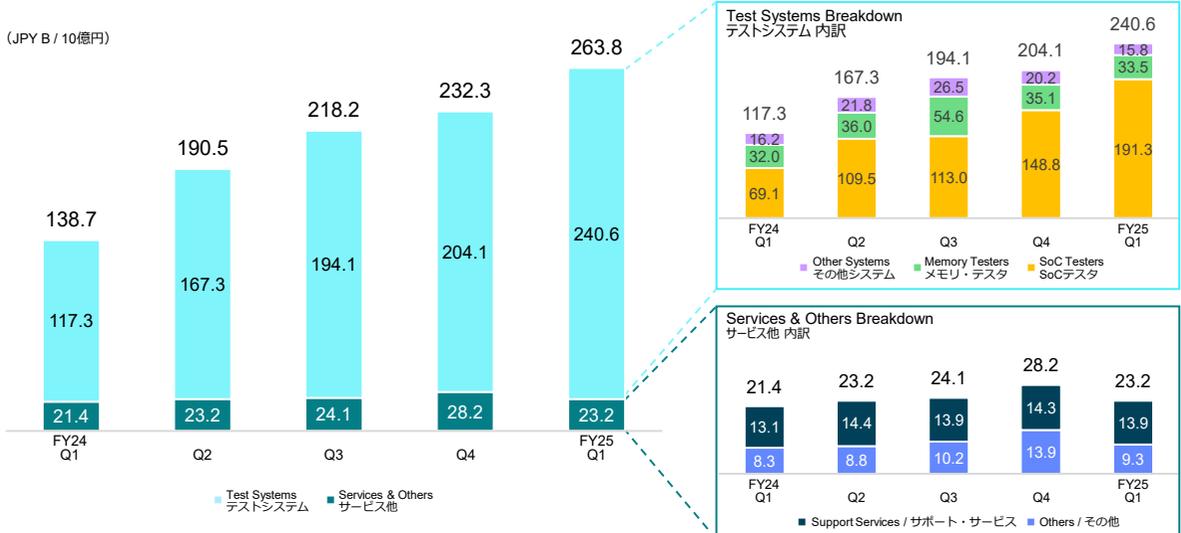
(*) Products related to the system level test business acquired from Astronics Corporation in CY2019 / 2019年にAstronics Corporationより譲受したシステムレベルテスト事業に関連する製品

○ 報告セグメントの変更概要

- 業績の詳細をご説明する前に、まず報告セグメントの変更についてご説明します。
- 当社はテストのみならず、その周辺機器等を含めた包括的なテスト・ソリューションの提供を目指す中で、マネジメント・アプローチの視点により、FY2025から報告セグメントを変更します。
- 具体的には、従来の3つのセグメントを、「テストシステム事業」と「サービス他」の2つのセグメントに変更します。
- 「テストシステム事業」には、SoCテスト、メモリ・テストの他、「その他システム」に、テストと需要連動性の高い製品であるテスト・ハンドラおよびデバイス・インタフェースが含まれます。また、CY2019に米国のAstronics社より譲受したシステムレベルテスト事業に関する製品もこの「その他システム」に含まれます。
- 「サービス他」には、サポート・サービスの他、ナノテクノロジー製品、過去に買収した企業のテストソケットやテスト用インタフェースボード等の消耗品ビジネスなどが含まれます。
- それでは、業績の詳細についてのご説明に移ります。

Quarterly Sales by Segment / 四半期売上高 事業セグメント別

(JPY B / 10億円)



Note: Intersegment transactions have been eliminated from total / 会計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

7 | ADVANTEST

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

○ FY2025 Q1 セグメント別売上高

○ テストシステム事業

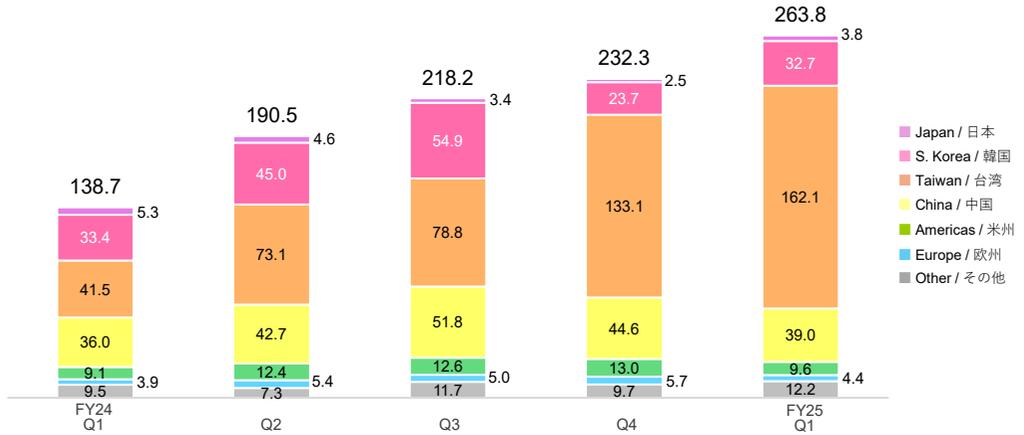
- SoCテストの売上は、前四半期比424億円増の1,913億円でした。主に高性能化や複雑化が進むHPC (High Performance Computing) /AI関連半導体向けに、前四半期からさらに製品納入を進めることができました。
- メモリ・テストの売上は335億円で、高性能DRAM向けを中心に、前四半期と同等の高い売上水準となりました。

○ サービス他

- サポート・サービスの売上は安定的に推移しましたが、ナノテクノロジー製品の売上が前四半期比で減少しました。

Quarterly Sales by Region (Ship to Region) / 四半期売上高 地域(出荷先)別

(JPY B / 10億円)



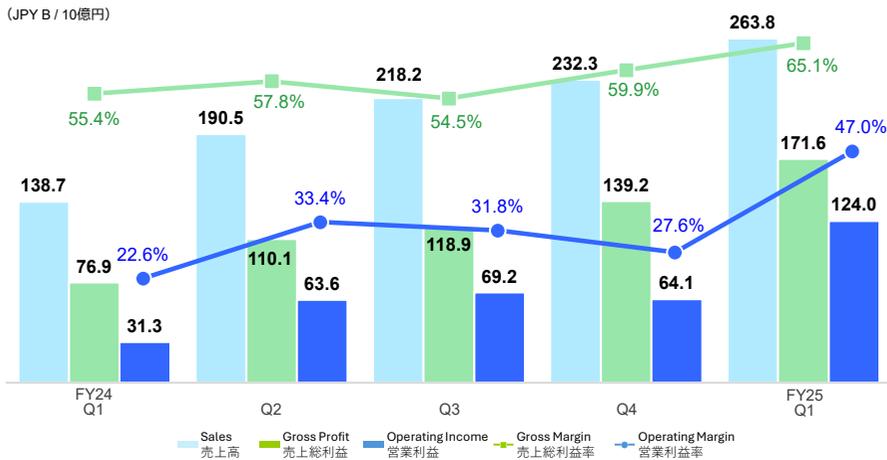
8 | ADVANTEST

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

○ FY2025 Q1 地域(出荷先)別売上高

- 台湾
SoCテストを中心に売上が前四半期比で大幅に伸長しました。これは主に、米国の複数ファブレスにおけるハイエンドSoC向けの品質保証強化を背景に、関連するファウンドリ、OSAT向けの売上が伸長したことによります。
- 韓国
メモリ・テスト、および関連するデバイス・インタフェースの売上が増加しました。

Sales, Gross Profit, Operating Income / 売上高、売上総利益、営業利益



Note: Operating income includes an impairment loss of approximately JPY 21.4 billion on goodwill and intangible assets in Q4 FY24, and a gain of approximately JPY 2.5 billion from the partial divestiture of a business in Q1 FY25 / FY24 Q4の営業利益にはのれんおよび無形資産の減損損失約214億円、FY25 Q1の営業利益には事業の一部譲渡による譲渡益約25億円を含みます

9 | ADVANTEST

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

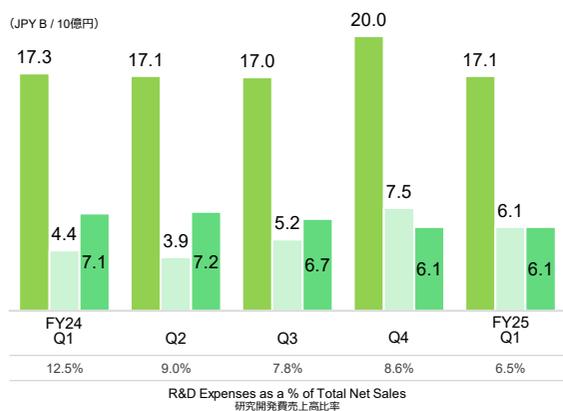
○ FY2025 Q1 売上高/売上総利益/営業利益

- 収益性の高いハイエンドSoC向けの売上が伸長したことを主因に、売上総利益率が前四半期比で上昇しました。
- 販売費および一般管理費等（その他収益・費用を合算）は、前四半期比で275億円減少しました。ただし前四半期は、のれんおよび無形資産の減損損失約214億円を計上しております。また、Q1では、事業の一部譲渡による譲渡益約25億円を計上しています。
- この結果、Q1の営業利益率は47%となり、過去最高となりました。

Investments, Cash Flow / 投資等、キャッシュ・フロー

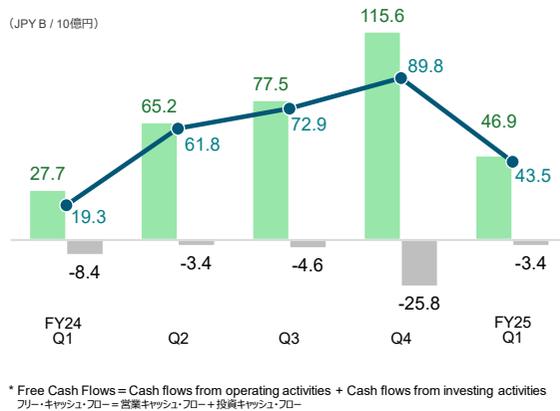
<Investments / 投資等>

- R&D Expenses / 研究開発費
- Capital Expenditure / 設備投資
- Depreciation & Amortization / 減価償却費



<Cash Flow / キャッシュ・フロー>

- Cash flows from operating activities / 営業キャッシュ・フロー
- Cash flows from investing activities / 投資キャッシュ・フロー
- Free Cash Flows / フリー・キャッシュ・フロー



○ FY2025 Q1 研究開発費等

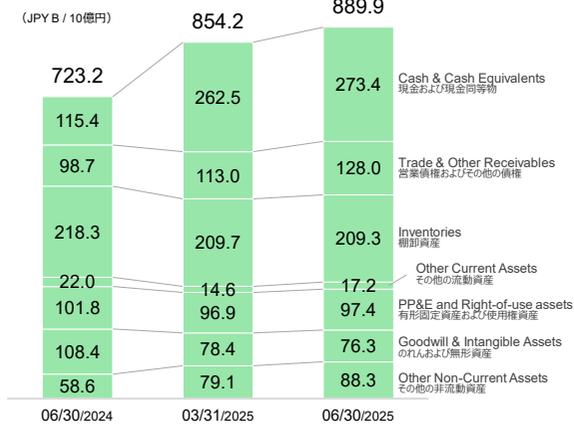
- 研究開発費は171億円、設備投資は61億円となりました。

○ FY2025 Q1 キャッシュ・フローの状況

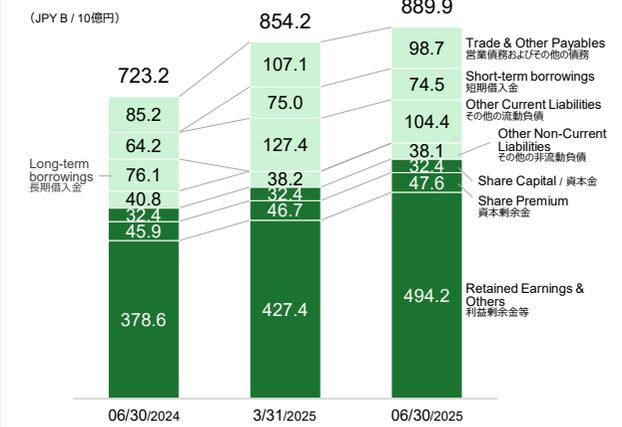
- Q1の営業キャッシュ・フローは、法人税や賞与の支払いなどにより、前四半期比で減少しました。

Financial Position / 連結財政状態

<Assets / 資産の部>



<Liabilities & Equity / 負債・資本の部>



Equity Attributable to Owners of the Parent 親会社の所有者に帰属する持分	456.9	506.5	574.2
Ratio of Equity Attributable to Owners of the Parent / 親会社所有者帰属持分比率	63.2%	59.3%	64.5%

○ 2025年6月末時点のバランス・シート

- 6月末の現金および現金同等物は2,734億円、棚卸資産は2,093億円でした。
- 親会社所有者帰属持分比率は64.5%となりました。
- 業績が好調に推移する中、今後も成長投資と資本効率性のバランスを考慮したキャッシュ・アロケーションおよびバランスシート・マネジメントを行ってまいります。
- 私の発表は以上です。引き続き、ダグラスよりご説明いたします。

FY25 Outlook

2025年度の見通し

Douglas Lefever Representative Director, Senior Executive Officer, Group CEO

ダグラス ラフィーバ 代表取締役 兼 経営執行役員 グループCEO

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ADVANTEST[®]

Tester Market Trends: July 2025 Outlook / テスタ市場の動向 <25年7月時点の見方>

Business Environment

- The semiconductor market demand is expected to continue to be driven mainly by AI-related applications
- Elements of uncertainty persist due to potential and ongoing geopolitical risks and the possible risk of sharp exchange rate fluctuations

Tester Market Forecast

- Raised CY25 SoC tester market size forecast as previously pervasive macroeconomic uncertainties have eased, and AI-related demand drives the market more than initially expected
- Maintained the CY25 memory tester market size forecast

事業環境

- 半導体市場の需要は、引き続き、主にAI関連アプリケーションがけん引すると予想
- 地政学的リスクの継続や急激な為替変動リスクなど、不確実性の要素は依然として残存

テスタ市場

- 広範に及んでいたマクロ経済の不確実性が緩和されたことに加え、AI関連向けの需要が当初の予想を超えており、CY25のSoCテスタ市場規模予測を上方修正
- CY25のメモリ・テスタ市場規模予想を据え置き

Source: Advantest

Market Size / 市場規模	CY24 Actual / 実績	CY25 Estimate / 推定
SoC Testers / SoCテスタ (Approx. / 約)	\$4.1B / 41億ドル	\$5.7 - 6.3B / 57-63億ドル (\$4.2 - 4.8B / 42 - 48億ドル*)
Memory Testers / メモリ・テスタ (Approx. / 約)	\$1.9B / 19億ドル	\$1.7 - 2.2B / 17-22億ドル (\$1.7 - 2.2B / 17 - 22億ドル*)

* Estimate as of April 2025 / 2025年4月時点の当社推定

○ 事業環境と半導体テスタ市場

- それでは、事業環境とCY2025のテスタ市場の展望について、当社の見解をご説明いたします。半導体市場の基本的な潮流に大きな変化は見られません。引き続き、AI関連アプリケーションが成長の主な牽引役となっており、自動車や産業機器などその他の分野における需要は、軟調な状況が続いています。
- 全般的な不確実性は、3か月前と比べてやや緩和されたものの、依然としていくつかのリスクが残っています。具体的には、地政学的緊張の継続の可能性や、為替レート急激な変動の可能性などが挙げられます。
- これらの要因を踏まえ、当社のテスタ市場規模予測を以下の通り更新いたします。
- CY2025のSoCテスタ市場については、市場規模予測のレンジを、4月時点の予測(42億~48億米ドル)を、57億~63億米ドルへと上方修正いたします。4月時点では、堅調な需要を確認していたものの、マクロ経済の不透明感を踏まえ、1月の市場規模予測を据え置きました。しかしながら、3か月が経過し、先行きの見通しが改善されたことに加え、AI関連需要が予想を上回る強さを見せていること、そして当社の供給能力が強化されたことを鑑み、今回の修正に至りました。
- 次に、CY2025のメモリ・テスタ市場については、17億~22億米ドルという予測レンジを据え置きます。これは、過去の水準と比較しても高水準であると認識しています。
- これらすべての要素を総合的に勘案すると、CY2025における半導体テスタ市場は、ミッドポイントで前年比約33%の増加となります。

FY25 Forecast / FY25業績予想

(JPY B / 10億円)	FY24	FY25 Forecast 予想				vs. FY24		Forecast as of April 4月時点予想	Change 修正額	
	Results 実績	Q1 Results 実績	Q2	1H 上期	2H 下期	Change 増減額	(%)			
Sales / 売上高	779.7	263.8	237.2	501.0	334.0	835.0	+55.3	+7.1%	755.0	+80.0
Operating Income / 営業利益	228.2	124.0	96.3	220.3	79.7	300.0	+71.8	+31.5%	242.0	+58.0
Operating Margin / 営業利益率	29.3%	47.0%	40.6%	44.0%	23.9%	35.9%	+6.6pts		32.1%	+3.8pts
Income Before Tax / 税引前利益	224.8	121.4	96.1	217.5	79.5	297.0	+72.2	+32.1%	240.0	+57.0
Net Income / 当期利益	161.2	90.2	71.8	162.0	59.5	221.5	+60.3	+37.4%	179.0	+42.5
Net Income Margin / 当期利益率	20.7%	34.2%	30.3%	32.3%	17.8%	26.5%	+5.8pts		23.7%	+2.8pts
Basic EPS (JPY) / 基本的一株当たり利益(円) *1	218.67	123.14	98.15	221.40	81.32	302.71	+84.04	+38.4%	243.96	+58.75
R&D Expenses / 研究開発費	71.4	17.1	19.4	36.5	40.0	76.5	+5.1	+7.1%	75.0	+1.5
Capital Expenditure / 設備投資	21.0	6.1	10.0	16.1	9.9	26.0	+5.0	+23.8%	22.0	+4.0
Depreciation & Amortization / 減価償却費	27.1	6.1	6.6	12.7	13.3	26.0	-1.1	-4.1%	25.0	+1.0
Exchange Rate (JPY) *2	1 US\$ 1米ドル 1 Euro 1ユーロ	153	146	140	143	140	142	JPY 11 Appreciation 11円 円高	140	JPY 2 Depreciation 2円 円安
		164	162	155	159	155	157	JPY 7 Appreciation 7円 円高	155	JPY 2 Depreciation 2円 円安

*1: Basic earnings per share in forecast is calculated deeming the average number of outstanding shares as the number of issued and outstanding shares as of June 30th, 2025 excluding the number of treasury shares as of June 30th, 2025 / 予想における「基本的EPS」は、2025年6月30日現在の「期末発行済株式数(自己株式を含む)」から「期末自己株式数」を除いた株式数を、期中平均株式数とみなして算定しております

*2: Our latest forecast for the impact of exchange rate fluctuations on FY25 operating income is plus JPY 2.4 billion per 1 yen of JPY depreciation vs USD, and minus JPY 0.3 billion per 1 yen of JPY depreciation vs. the Euro / 為替レート変動がFY25の営業利益に与える影響の最新見直しは、対米ドルが1円安時+24億円です。対ユーロは-3億円です

○ FY2025 業績予想

- Q1実績およびQ2以降の見通しを踏まえ、FY2025通期予想をスライドの通り上方修正いたします。なお、金額はすべて日本円で表示しております。

- 売上高:	8,350億
- 営業利益:	3,000億
- 税引前利益:	2,970億
- 当期利益:	2,215億
- 基本的一株当たり利益:	302.71

- 売上高を800億円上方修正したことは、主にSoCテストの寄与によるものであり、特にFY2025 Q1において想定を上回る進捗が見られました。SoCテストについては、次世代デバイスへの移行タイミングの影響により、下期には一時的な調整局面が訪れると見込んでおりますが、FY2026には再び成長が加速すると見ています。
- FY2025通期の売上総利益率は約60%、営業利益率は約36%に達する見通しであり、いずれも年度ベースで過去最高の水準となる見込みです。冒頭で申し上げた通り、FY2025 Q1における高い利益率は、スケール・メリット、製品ミックスの向上、コスト管理の徹底、そしてこれまでの投資の成果といった複数の要因が重なった結果です。中でも、売上の前倒しによるスケール・メリットの効果が特に顕著でした。これらの要因は年度後半にはやや弱まると見込まれますが、FY2026から顧客の次世代製品の立ち上がりにより、FY2025後半の一時的な調整局面を経て、成長軌道が再加速すると予想されるため、当社は引き続き供給能力の拡充やその他の重要分野への投資を継続してまいります。
- なお、FY2025 Q2以降の為替前提は、米ドルが140円、ユーロが155円です。
- 為替レートの変動が当社の営業利益に与える影響については、脚注2をご参照ください。

Securing Our Production Capacity for the Future Demand

将来を見据えた生産能力の増強

- ✓ Advantest expanded its production capacity by approx. three times in the last several years
当社は、過去数年間でテストの生産能力を約3倍に拡大



- ✓ Continue scaling both our SoC and memory tester capacities to meet the demand of the growing semiconductor market
拡大を続ける半導体市場に対応すべく、SoCテストおよびメモリ・テストの供給能力を引き続き強化



- ✓ Advantest plans to add more production capacity with our partners, and will be securing strategic inventories to maintain quick response times
当社は、パートナーとの協力により生産能力をさらに増強。さらに、迅速な出荷に向け戦略的に在庫を保有

○ 将来を見据えた生産能力の増強

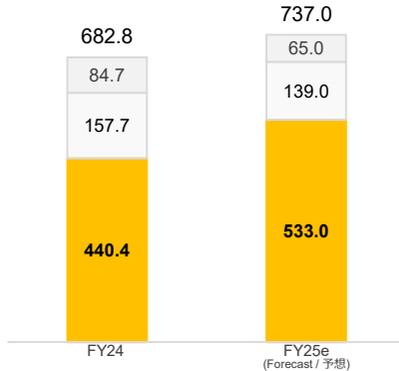
- ここで、今後の当社テスト需要のさらなる増加を見据えた生産能力増強への取り組みについても触れたいと思います。
- 私たちは、過去数年間でテストの生産能力を約3倍に拡大してまいりました。これにより、製品リードタイムの短縮を実現し、旺盛なテスト需要の増加に対応してきました。
- 半導体市場が1兆ドル規模になるとの市場予測もある中、当社はSoCテストとメモリテストの供給能力の強化を継続します。今後、FY2024比で70%以上の能力拡大を図る計画です。
- このため、パートナーとの連携を強化し、生産能力を増強します。また、迅速な対応を維持するために、戦略的な在庫にも投資していきます。
- では、次に売上予想の詳細をご説明します。

FY25 Outlook by Segment / FY25 事業別見通し

Sales Trends / 売上推移

(JPY B / 10億円)

- Other Systems / その他システム
- Memory Testers / メモリ・テスト
- SoC Testers / SoCテスト



Test Systems / テストシステム事業

< SoC Testers / SoCテスト >

- Sales growth is expected primarily from AI-related applications, while recovery in automotive/industrial/consumer applications is expected to take time

AI関連向けを中心に、売上の伸長を予想。一方、車載・産業機器・民生品向けの回復には、なお時間を要する見込み

Applications / アプリケーション	FY22	FY23	FY24	FY25e
Computing / Communications コンピューティング・通信	65%	60%	90%	90%
Automotive / Industrial / Consumer / DDIC* 車載・産業機器・民生・DDIC*	35%	40%	10%	10%

Numbers are rounded to the nearest 5% / 内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

* DDIC: Display Driver IC / ディスプレイ・ドライバIC

○ FY2025 テストシステム事業の見通し

○ SoCテスト

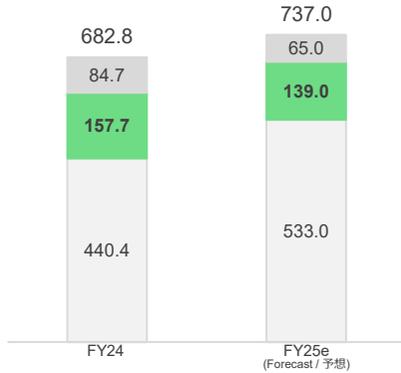
- SoCテストのFY2025売上予想を、4月時点の見通しから880億円上方修正しました。
- 今年度の最初の3か月間において、当社はAI関連需要の継続的需要を的確に捉え、供給能力の拡充を通じてその需要に応えることができました。下期には売上および出荷の変動が見込まれますが、現在開発中の新デバイスが量産フェーズに入ること、FY2026には複雑性に起因する成長が再加速すると見込んでおり、当社はその準備を着実に進めています。
- 一方で、AI以外の分野における需要は依然として低調な状況が続いております。

FY25 Outlook by Segment / FY25 事業別見通し

Sales Trends / 売上推移

(JPY B / 10億円)

- Other Systems / その他システム
- Memory Testers / メモリ・テスト
- SoC Testers / SoCテスト



Test Systems / テストシステム事業

< Memory Testers / メモリ・テスト >

- Sales are expected to remain elevated particularly for AI-related high-performance DRAM
AI関連の高性能DRAM向けを中心に高水準な売上を維持すると予想

Applications / アプリケーション	FY22	FY23	FY24	FY25e
DRAM	60%	90%	95%	90%
Non-Volatile Memory / 不揮発性メモリ	40%	10%	5%	10%

Numbers are rounded to the nearest 5% / 内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

○ FY2025 テストシステム事業の見通し

○ メモリ・テスト

- FY2025のメモリ・テスト売上予想は、4月時点の見通しから大きな変更はありません。顧客が技術ロードマップの推進を継続されている中、当社は供給能力の拡充を最優先事項に位置付けており、進化するニーズに的確に対応できる体制の構築を進めています。

FY25 Outlook by Segment / FY25 事業別見通し

Sales Trends / 売上推移

(JPY B / 10億円)

■ Support Services / サポート・サービス
■ Others / その他



Services & Others / サービス他

< Support Services / サポート・サービス >

- Demand for maintenance service is firm due to steady growth of our installed base
当社製品の設置台数の着実な伸びにより、サポート・サービスの需要は堅調

< Others / その他 >

- Sales of test interface boards and test sockets remain on plan, while nano-technology business is experiencing some delays in demand

ナノテクノロジー製品は一部需要の後ろ倒しがあるものの、テスト用インターフェイスボードやテストソケットの売上は、引き続き想定通り進捗する見通し

FY2025 サービス他事業の見通し

サポート・サービス

- サポート・サービスでは、当社製品の設置台数の着実な伸びを受けて、今後も安定した需要を見込みます。

その他

- ナノテクノロジー製品は一部需要の遅れが見られるものの、テスト用インターフェイスボードやテストソケットの売上は想定通りに進捗すると見ております。

ADVANTEST®

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

- 最後に、もう一言申し上げます。
- FY2025は力強いスタートを切ることができました。下期には一時的な調整局面があると見込んでいますが、FY2026には再び成長が加速すると期待しております。したがって、供給能力の拡充は引き続き当社の最優先事項です。
- 同時に、当社は「コア市場の成長率を上回る成長の実現」「近縁市場・新規事業領域への展開」「オペレーショナル・エクセレンスへの取組推進」「サステナビリティの取り組み強化」という4つの重点戦略の着実な遂行にも引き続き注力しています。
- 今後を見据える上で、当社は業界構造の進化を前向きに捉えており、当社の現在のポジションに対しても強い自信を持っております。
- なお、今年10月末に予定しているFY2025 Q2の決算説明会では、これらのテーマも含め、「第三期中期経営計画」のアップデートをご説明する予定です。
- 以上をもちまして、私からのプレゼンテーションを終了いたします。ご清聴ありがとうございました。